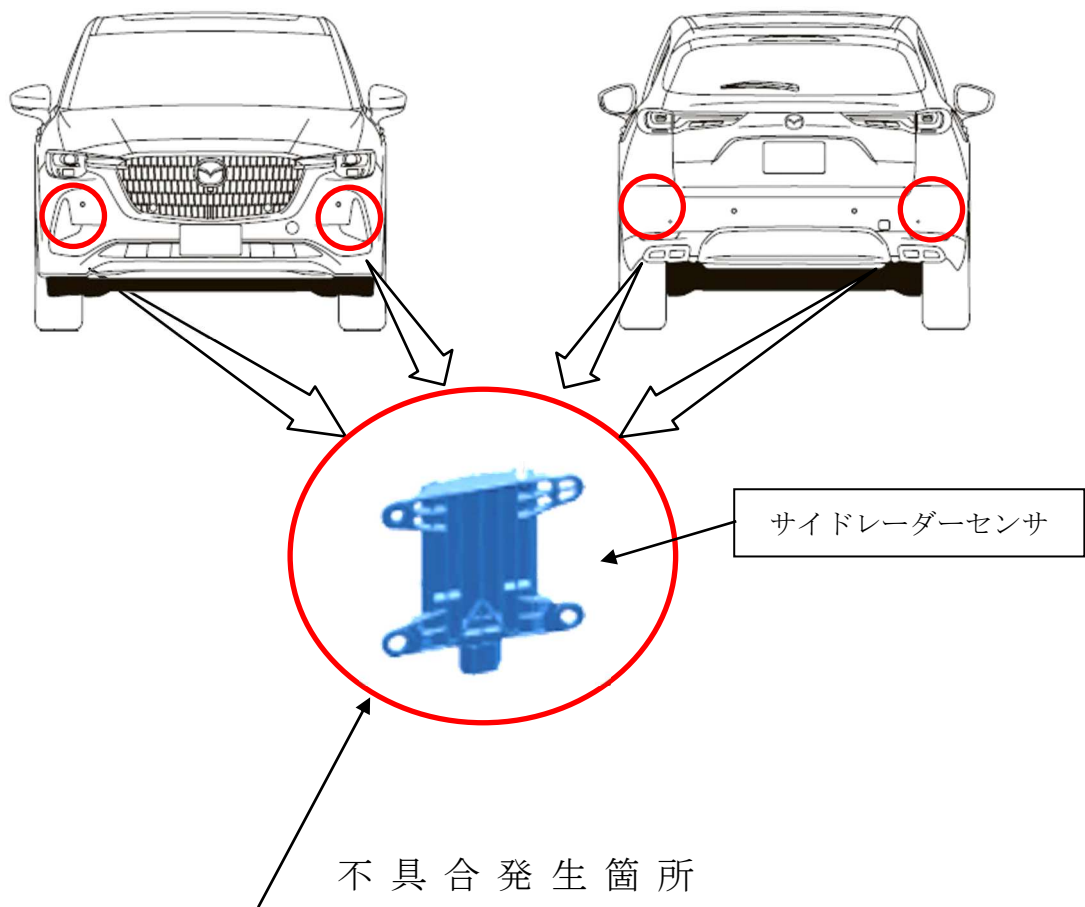


改善箇所説明図



サイドレーダーセンサにおいて、情報処理プログラムが不適切なため、センサが電波を出す角度を補正するための記録情報が、システム遮断時に消失することがある。そのため、センサが対象物の位置を正しく認識できず、前進あるいは後退時に警報音や被害軽減ブレーキが作動しないおそれがある。また、衝突の可能性がないにもかかわらず、警報音が鳴り、最悪の場合、急制動がかかるおそれがある。

改善の内容

全車両、サイドレーダーセンサの制御プログラムを対策プログラムに修正する。なお、サイドレーダーセンサの記録情報が消失している場合は、サイドレーダーセンサを対策品に交換する。

識別：右リヤドア・ロアヒンジ取付けボルト(上側)の頭に黄ペンを塗布する。

注) ☐ は、対策プログラムに修正、もしくは交換する部品を示す。